

生活製品産業研究会について

2022 年 3 月
経 済 産 業 省
製 造 産 業 局
生 活 製 品 課

1. 本研究会の開催趣旨

生活製品に関する産業は、例えば、繊維は、かつて我が国の基幹産業として、我が国の近代以降の経済的発展や戦後の復興・高度成長を牽引してきた。また、品質に関しては国内外から高い評価を受け、現在も海外の主要見本市において製品品質が高く評価されるなどしている。

一方、貿易摩擦、バブル崩壊、新興国台頭等を経て、特に 1990 年代以降、生産拠点の海外移転が進むとともに、安価な製品が国内市場で存在感を増している。

こうした生活製品産業をめぐる状況は大きく様変わりしている。

インターネットやスマートフォンの普及によるオンライン消費の拡大、SNS を通じた双方向の情報のやり取り、さらにはデジタル技術の発達・普及は、新たなビジネスをつくり出す要因となっている。

また、人生 100 年時代の到来により、働き方・生き方が多様化し、求められる製品・サービスも変化することが想定される。

加えて、新型コロナウイルス感染拡大により、家における滞在時間の増加や、健康意識の向上等の影響が出てきている。

こうした状況において、今後求められる製品・サービスの内容は変化していくとともに、その提供方法も変わっていくものと想定される。

品質や価格だけではなく、モノを通じた付加価値における競争が生じている中、新たなビジネスモデルの構築が求められる。

以上の問題意識の下、本研究会では今後の生活製品産業に関して議論・検討をする。

2. 本研究会の進め方

今夏の間とりまとめを念頭に、月 1 回程度開催予定。